

## 今週のメニュー

■ [トピックス](#)

◇ 栗田新会長挨拶

■ [随想](#)

◇ 古代ヤマトの遠景〔番外〕（50）素戔鳴尊（5）

木下 清隆

■ [編集後記](#)

## ■ トピックス

## ◇ 栗田新会長挨拶

5月17日に塩ビ工業・環境協会 第25回通常総会を開催いたしました。今年度は役員くわだまもるの改選期にあたり、栗田守 会長（東ソー(株) 代表取締役社長 社長執行役員）、吉池 悦雄 副会長（(株)カネカ 執行役員）が新しく就任いたしました。

以下に、栗田新会長の挨拶を掲載いたします。

5月17日に開催されました弊協会第25回総会におきまして、斉藤会長の後を受け「塩ビ工業・環境協会」の会長を拝命いたしました東ソー株式会社の栗田（クワダ）でございます。また、副会長には株式会社カネカの吉池様が就任いたしました。新体制においても、会員一同、力を合わせて塩ビ産業の益々の発展のため尽力いたしますので、皆様の一層のご助力・ご指導をお願い申し上げます。

1998年5月に発足した当協会は、塩化ビニル（以下、「塩ビ」）に関する正しい理解を広め、塩ビ工業の健全な発展に寄与することをめざし、今日まで活動してきております。1995年の塩ビ樹脂の需要は、日本では185万t、世界全体では2077万tでした。2021年では日本は99.6万t、世界全体では約4880万tと推定されています。この26年間で日本では塩ビ需要量が54%に減少し、世界全体では2.3倍に増加したことになります。また、2019年の人口一人当たり年間の塩ビ樹脂消費量は日本が9.0kgに対し、韓国は20kg、台湾が17kg、続いて米国が16.7kg、中国で14kgでした。一方、消費の少ない国としては、フィリピンが1.8kg、インド2.5kgなどです。

先人達の塩ビ工業に対するたゆみない努力により、塩ビに関する正しい理解が広がってきている一方、未だに誤解されている状況も目にすることを鑑み、より一層の広報活動ならびにリサイクル推進などの取り組みが必要であると思っております。

さらに、2022年4月1日の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラスチック資源循環法）」施行をはじめ、塩ビ樹脂を含むプラスチック全般に対してはますます厳しい目が向けられています。2022年度も地球環境問題の視点に立つことが一層重要視されることは間違いなく、環境と経済の両立という難題に取り組んでいかねばならないことは想像に難くありません。特に、塩ビをはじめとするプラスチックやプラスチック加工に使う添加剤に対する各種規制の導入への動きが激しさを増し、プラスチックに関する包括的な資源循環体制が強化されると予想されます。使い捨てプラスチックとして使用される塩ビ製品は限定的とはいえ、塩ビの存在がリサイクルの妨げになるといった塩ビ忌避・排除の動きにつながらないように、留意していかねばなりません。

このような背景のもと弊協会は、LCAや製品寿命の観点での塩ビ製品の優位性や、これらの特長による循環経済実現への貢献を積極的にアピールしてまいります。具体的には、製品の製造段階に加え、長寿命性の製品がもたらす省エネルギー効果や、建築物の開口部周辺に使用する塩ビ製建材の優れた断熱・遮熱性能によるカーボンニュートラル（CN）実現への貢献などを広く知っていただくことに注力いたします。

まず、広報活動としては、塩ビ製品の需要拡大やSDGsへの貢献を目指して、塩ビに関係する環境・規制動向の情報収集と、行政・関連団体・企業・メディア・消費者等に対し訴求力のある広報・啓発活動を推進いたします。また、塩ビに関する正しい理解を広めるため、環境イベントへの参加や出前授業等のプラスチック教育を積極的に推進してまいります。

次に建材の開発・普及活動としては、国策となった2050年CN実現に向けて、窓周辺に用いる塩ビ製建材の省エネ・CO2排出削減性能を実証、広く情報公開し、また、樹脂製建具の防火性能に関わる試験、認証を簡略化することで、樹脂窓のコスト低減や塩ビ製建材の開発促進と需要拡大を目指してまいります。

リサイクル推進活動としては、樹脂窓分野において再生材料を使用するための環境づくりに注力し、リサイクルシステムの社会実装に向けた準備を行います。また、関連団体と共同で塩ビ製品のマテリアルリサイクル率を一層向上させるための検討や、プラスチックリサイクルにおける塩ビ・塩素の分離技術開発を中心に、リサイクル支援制度の対象案件を幅広く探り、支援してまいります。

また、各種の国際会議に参加し、欧米、アジアの塩ビ関連業界団体と連携して、塩ビや塩ビ製品に関する不当な規制や差別等に適切に対応し、グローバルな塩ビ産業振興活動を推進してまいります。特にアジア太平洋地域での活動をリードし、アジア地域の塩ビ市場の発展を力強く支援いたします。加えて、関連団体等とのより一層の連携強化や、会員各社との情報共有に努めてまいります。

私ども塩ビ工業・環境協会は、わが国の塩ビ工業のより一層の発展に向け、関係各位のご指導を仰ぎながら、会員の皆様と共に歩んでまいりたいと存じます。会員の皆様には、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご清栄をお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

◇古代ヤマトの遠景〔番外〕（50）

木下 清隆

すさのおのみこと  
【素戔鳴尊（5）】

＜前回とのつながり＞

素戔鳴尊と おおなむちのみこと 大己貴命 は、神門地方の英雄「須佐能袁命」から、誕生したとする考え方は、かなり確かなものと云えるが、これによって、二神の素性が明確になった訳ではない。そこで、今回は、素戔鳴尊に焦点を当てて、その活躍ぶりを整理することにした。

5 記紀の中の素戔鳴尊

『出雲国風土記』の解釈から神門地方の英雄・建国の英雄の姿が浮かび上がってきた。更にその英雄から大己貴命と素戔鳴尊が生まれてきたが、この素戔鳴尊には分からないことが多く、その不明な点を明らかにするため、素戔鳴尊に関連する事項を、古事記を主体に整理することにする。（ ）は筆者注。



宗像神社（三女神が祀られている）

イ 天地が始めて開けたとき高天原に、天之御中あめのみなかぬし、高御産巢日神たかみむすひのかみ、神産巢日神かむむすひの三神が成り坐したが、姿を見せることはなかった。その後、天之常立神あめのとこたちのかみ、国之常立神等の神々が成り坐したが、同じく姿を見せることはなかった。

(日本書紀では最初に出てくるのは、国常立尊になっている。)

ロ 次にイザナギ・イザナミの二尊が現れ、この二尊によって淡路島、四国、九州等大八洲おおやしま国及び多くの神々が誕生した。

ハ 火之迦具土神ひのかぐつちのかみを生んだときに、イザナミ尊はその炎で焼け死んだ。

ニ イザナギは亡くなったイザナミを求めて黄泉国に行き、そこで醜い妻の姿を見て逃げ帰る。そこは出雲国の黄泉比良坂よもつひらさかであった。

ホ 黄泉国から帰ったイザナギは禊をし、左眼を洗ったときに天照大神が生まれ、右目を洗ったとき月読命が生まれ、鼻を洗ったとき素戔鳴尊が生まれた。この三神の誕生をもって神生みは終わる。

(書紀では、ハ、ニ、ホの内容が省略されており、イザナギ・イザナミの二尊から、日の神、月の神、素戔鳴尊が順次生まれた。)

ヘ イザナギ尊は素戔鳴尊に海原を治めることを命じるが、死んだ母のいる根国に行きたいと泣いてばかりいるため、素戔鳴尊はイザナギ尊に追放される。

ト 素戔鳴尊は高天原にいる姉の天照大神に別れの挨拶に行くが、天照大神は国を奪い

に来たのではないかと尊を疑う。

チ 身の潔白を明かすために、素戔嗚尊は天<sup>あまの</sup>真名井<sup>まな</sup>で誓約<sup>うけひ</sup>をした。先ず天照大神は素戔嗚尊の所持する剣から三柱の比売を生んだ。次に素戔嗚尊は天照大神の身に付けている玉から五柱の男神を生んだ。男神が誕生したことで素戔嗚尊は誓約に勝ち、最初の子に<sup>まさかあかつかはやひあめのおしほみのみこと</sup>正勝吾勝勝速日天之忍穗耳命と名付けた。

リ 天照大神は五柱の男神の物種は自分のものだから、この子達は私のものだ、比売たちは汝のものだと云って、それぞれの御子達を分けた。結果的に素戔嗚尊の子とされた三女神は、宗像神社に祀られている三神である。

又 誓約で身の潔白を明かした素戔嗚尊は、高天原に居座って散々悪事を働いたため、天照大神は天岩戸に隠れてしまった。

ル 八百万の神々は、天照大神を奇抜な策で天岩戸から外に出すと、素戔嗚尊の鬚を切り手足の爪をぬいて罪を償わせ、高天原から追放した。

ヲ 素戔嗚尊が<sup>おおけつひめのかみ</sup>大気都比売神に食物を乞うたところ、鼻、口、尻から種々の食物を取り出したので、穢されたと思った尊がこの神を殺した。この神の体から蚕、稲種、粟、麦、大豆が<sup>な</sup>生<sup>かむむすひ</sup>ったので、神産巢日<sup>みおや</sup>の御祖命はこれを取らして種とした。

(この部分は前後に全く脈絡なく挿入されている文である。素戔嗚尊が穀物の神であることの紹介とも取れる。書紀にはこの部分の記載はない。)

ワ 出雲に天降った素戔嗚尊は、<sup>やまたのおろち</sup>八岐大蛇を退治し、<sup>あしなづち てなづち むすめ</sup>足名椎・手名椎の女櫛名田比売を助ける。このとき八岐大蛇から草薙剣が出てくる。

カ 出雲に落ち着いた素戔嗚尊は、櫛名田比売、大山津見女達との間に多くの子をもうけた。大国主神(<sup>おおなむぢ</sup>大穴牟遲神)は櫛名田比売との間の六世の孫となっている。

(書紀では、素戔嗚尊と奇稻田姫との間に<sup>おおあなむぢ</sup>大己貴神が生まれたのち、素戔嗚尊は根国に行ってしまう。)



八重垣神社  
(素戔嗚尊が落ち着いたとされる場所)

(つづく)

この「古代ヤマトの遠景」に対し、ご意見・ご感想を頂ければ幸いに存じます。>> [\(筆者\)](#)

「古代ヤマトの遠景」：[バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

延期していた PVC Award 2021（生活を豊かにする PVC 製品）の展示会を以下の通り開催します。

開催日：2022年7月1日（金）～10日（日）

開場：11:00～20:00（最終日閉場 18:00）

会場：GOOD DESIGN Marunouchi（東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 1F）

PVC Award 2021 は、PVC（塩ビ素材）の優れた特性を活かして、様々な機能を付与して、生活の利便性向上や、環境配慮・リサイクル・防災など社会のニーズに応える製品を公募するコンテストです。受賞作品をはじめ魅力ある作品を展示します。

皆様のご来場をお待ちしております。（PVC Award 事務局）

<http://www.pvc-award.com/>

## ■ 関連リンク

- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <https://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

---